

知的障害特別支援学校に対する保護者等のニーズ調査の結果
(特別支援学校及び市町村教育委員会への聞き取り)

	聞き取り内容
山田特支	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合った教育を受けさせたい。 ・生活自立や社会自立をさせたい ・知的障害教育の専門性のある学校を選びたい。 ・手厚い支援 ・卒業後の働く力を身につけさせたい。 ・進路指導が充実 <p>※小学部ではスクールバスで自宅から通える学校というニーズが高く、高等部になると就労に向けた進路指導のニーズが高い。</p>
日高特支	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合った教育を受けさせたい。 ・生活自立や社会自立をさせたい ・知的障害教育の専門性のある学校を選びたい。 ・手厚い支援 ・卒業後の働く力を身につけさせたい。 ・進路指導が充実 <p>※小学部ではスクールバスで自宅から通える学校というニーズが高く、高等部になると就労に向けた進路指導のニーズが高い。</p>
高知特支	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合った教育を受けさせたい。 ・生活自立や社会自立をさせたい ・知的障害教育の専門性のある学校を選びたい。 ・手厚い支援 ・卒業後の働く力を身につけさせたい。 ・進路指導が充実 ・寄宿舎がほしい

高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自閉症のある子どもは、就学前に児童発達支援センター「やいろ」（南国市）や児童発達支援センターしんほんまち「あゆみ」（高知市）に通っていることが多く、そこでは、ワークシステム（一人で課題に取り組むことができるように、活動とその終わり等を視覚的に提示）等を取り入れた指導を行っている。 就学後も、その指導の継続を求める傾向があり、ワークシステム等を取り入れた授業を行っている学校を選ぶ傾向がある。 ・ 高知市の東部の子どもは、高知特支よりも山田特支のほうが通いやすい。高知市東部から公共交通機関を使って高知特支に通う場合、一般の高校生に交じって通学する必要があり、大きなストレスとなるので山田特支を選ぶ傾向がある。 ・ 地域の友達と一緒にいたいということで、地元の学校に通うお子さんもいる。
南国市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門性 ・ 子どもに合った環境・支援（見学に行き行って感じた） ・ 危険認知度が低い子どもにとっては、家から学校に通うよりもスクールバスで通ったほうが安心。 ・ 将来生きていく力（金銭に関する事等）が身につく
香南市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手厚い支援 ・ 専門的な支援 ・ 就労に結びつく支援 ・ 小学校入学にあたっては、地元の学校で地域の友達と一緒に学ばせたいというニーズが高いが、中学校入学にあたっては、同じ障害のある仲間の中で共に学ばせたいというニーズが高くなる。

香美市	<ul style="list-style-type: none">・将来生活するにあたっての生活する力を身につけさせたい。・専門性が高く、丁寧な対応をしてもらえる。・個に応じた進路指導が受けられる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"><ul style="list-style-type: none">・中には友達と同じ学校に通わせたいという保護者もいるが、居住地校交流も充実してきているため友達とつながる方法はある。・過去には隔離するといった負のイメージもあったが、現在はプラスのイメージが強くなっているため、ハードルが低くなっている。・子どもが変わると保護者も安心する。以前は特別支援学校に通わせることに不安がある保護者もいたが、保護者同士の情報交換によって安心感が広がってきて、子どものためになるならと考える保護者が増えてきている。<p style="text-align: center;">※ 境界域のお子さんでも丁寧な対応を求めて特別支援学校を希望することがあるが、対象でない方は入れないと断ることがある。</p></div>
-----	--